

## ■入選作品

Haco	:	木下 昌大 (KINO architects)
ロイヤルパークホテル ザ 京都	:	黒柳 亮 (株式会社 竹中工務店)
三井住友銀行 夙川支店	:	西田 徹太郎、今井 充彦 (日建スペースデザイン)
大阪木材仲買会館	:	白波瀬 智幸、興津 俊宏 (株式会社 竹中工務店)
Dage   reversi	:	橋口 新一郎 (橋口建築研究所)
12 / 12 stool	:	富所 駿 (多摩美術大学)
Vege-co (ベジコ)	:	2012年度デザイン総合プロジェクト (千葉大学)

### 2014年 JID 賞ビエンナーレ 全体講評 (五十音順)

特別審査員

喜多 俊之 (公益社団法人 日本インテリアデザイナー協会 理事長)

JID賞ビエンナーレ2014は今年も多く優秀な作品応募がありました。作品には、常に時代の背景が反映されていて、それぞれのアイデアが繊細なディテールで表現されていました。ごく普通の街の一角が、一つのコンセプトで総合的にまとめられたデザインによって一変してしまうという事例を示した「扇屋旅館 扇屋カフェ」が大賞を受賞したのも今日的な背景があったからだと考えられます。

特別審査員

松原 亨 (株式会社マガジンハウス「Casa BRUTUS」編集長)

大賞を受賞した「扇屋旅館 扇屋カフェ」はパブリックなレベルで、インテリアスペース部門賞の「シキリの形」はパーソナルに、空間デザインの良いアイデアが、人間の生活に欠かすことのできない重大事であることを示していると思う。質の高い暮らしには、質の高い空間が必要だ。そしてその「質」は金銭的な価値とは別の尺度であることもこの2作品は示していると思う。おめでとうございます。

特別審査員

山田 節子 (株式会社TWIN 代表、クリエイティブディレクター)

自然も、人の心も、崩れそうな、“今”。先鋭性や斬新さでは無く<地域の再生><空間の再生><生業の再生>と云う課題に、身の丈に合った作品が選ばれ、爽やかな印象が残る審査会でした。とりわけ、大賞の「扇屋旅館 扇屋カフェ」は、地方都市の駅前に位置し、暖簾をくぐると、市井の広場も兼ねる舞台の如き中庭・宿・宴席・カフェ・オーナーの住居の設け。それが、健全に24時間稼働し、半年先まで宴席は予約満杯とのこと。多くの地域や人々に希望を送る力を感じ、拍手を送りたい。

**JID 賞とは** JID 賞は、デザイナーや企業等の優れた活動成果を表彰して日本のインテリアデザインの質的向上を図り、豊かな社会と文化の発展に寄与することを目的としています。現代の多様なライフスタイルへの提案をはじめ、デザインによる地域への貢献、福祉や環境的視点を持つ取組み、若いデザイナーの意欲的な試みなどに対しても積極的な評価を行い、インテリアの重要性・デザインの力を社会に発信します。

### 2014年 JID 賞ビエンナーレ審査員

特別審査委員

喜多 俊之  
(公益社団法人 日本インテリアデザイナー協会 理事長)

松原 亨  
(株式会社マガジンハウス「Casa BRUTUS」編集長)

山田 節子  
(株式会社TWIN 代表、クリエイティブディレクター)

安藤 清 (インテリアデザイナー、企画室 A.N.D.)  
岩倉 榮利 (岩倉榮利造形開発研究所 代表取締役)  
川上 玲子 (テキスタイルデザイナー & インテリアデザイナー)  
近藤 康夫 (インテリアデザイナー)  
清水 忠男 (製品・環境デザイナー、選考委員会委員長)  
瀬戸 昇 (株式会社エーディーコアデバイス、クリエイティブディレクター)  
長岡 貞夫 (長岡貞夫デザイン事務所 所長)  
米谷ひろし (TONERICO: INC. 代表、多摩美術大学准教授)

# JID AWARD BIENNIAL 2014

## 2014年 JID 賞ビエンナーレ 入賞作品

